

輝く命

HIKARE

～光れ～



新生会広報誌

vol.17

令和7年2月発行



社会福祉法人 新生会

社会福祉法人 新生会

<https://www.i-shinseikai.jp/>

詳しい情報はホームページで



1 社会福祉法人新生会 法人本部事務局

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割128番地1

電話：019-611-0242 FAX：019-611-0252

2 障害者支援施設「新生園」

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割125番地

電話：019-697-6831 FAX：019-697-8248

3 障害者支援施設「第二新生園」

〒028-3617

岩手県紫波郡矢巾町大字太田第17地割54番地

電話：019-697-8011 FAX：019-697-8013

4 医療型障害児入所施設

「みちのく療育園メディカルセンター」

〒028-3623

岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番地

電話：019-611-0600 FAX：019-611-0601

医療的ケア児支援センター（相談窓口）

電話：019-611-0610

5 多機能型施設「ワークセンターむろおか」

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割124番地

電話：019-697-6856 FAX：019-611-1666

エコレストランあいのの

〒028-3605

岩手県紫波郡矢巾町大字間野々第12地割50番地

電話：019-681-0304 FAX：019-681-0306

6 多機能型事業所「あさあけの園」caféあさあけ

〒028-3614

岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

電話：019-697-6537 FAX：019-658-8538

7 相談支援事業所

「障害者地域生活支援センター しんせい」

電話：019-697-3300 FAX：019-601-2826

紫波地域障がい者基幹相談支援センター

電話：019-601-2805 FAX：019-601-2826

〒028-3614

岩手県紫波郡矢巾町大字又兵工新田第6地割17番地2

8 共同生活援助事業所「新生ホーム」

・室岡ホーム・見前ホーム・中島ホーム・第二中島ホーム

〒028-3625

岩手県紫波郡矢巾町大字室岡第12地割70番地9

電話：019-611-1199 FAX：019-601-2380

念頭にあたって

社会福祉法人新生会 理事長 阿部 肇 男



令和7年の年頭にあたりまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より当法人の運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に発生した能登半島地震、翌日の羽田空港での救援物資搬送の役割を負った自衛隊機と民間機との衝突炎上事故と、衝撃的な年の始まりでありました。被災された地からの現在の復旧・復興の様子を知るにつけ、お見舞いの言葉しかありません。

一方、感染法上5類に移行してかなりの時間を経た新型コロナウイルスでしたが、当法人内におきましても依然として複数のクラスターの発生がありました。また、諸物価の高騰も重なり、その影響は大きく、注意深い運営を余儀なくされました。

また、今回の衆議院議員選挙においては与党が過半数割れとなりました。今後の政局について様々な変化や影響が語られていますが、社会福祉法人の立場としては、福祉分野の一層の充実を強く念じる所です。

さて、令和4年12月にご逝去されました当法人の創設者 藤原清司 氏に対して、矢巾町は5人目となる「名誉町民」として顕彰することを昨年12月開催の町議会にて議決決定したとの報を受けました。これは、理念「輝く命」を掲げ、私財を惜しみなく投じて障がい者福祉に尽力なされたことがもう一つの形で認められものであり、たいへん喜ばしく思うとともにその重みも感じています。私ども役職員一同は、創設者の志を継承し、これからも障がいのある方々への支援の充実、そして地域福祉への貢献へ邁進して参る所存であります。

結びに、昨年来の様々な影響が引き続き予想されますが、皆様方におかれましてはこの一年を穏やかに過ごしになられますようご祈念申し上げます。

岩手日報に創設者 藤原清司氏の記事が掲載されましたのでご紹介します。



※岩手日報2024年12月4日付
※岩手日報社の許諾を得て掲載しています。

感謝状贈呈

12月6日、みちのく療育園メディカルセンターに園の歌を寄贈された伊東宗行名誉園長へ感謝状を贈呈いたしました。(広報HIKARE第16号(前号)に園の歌を作ってくださった釜石市出身のあんべ光俊さんのコンサートの様子を掲載しました。)



ワークセンターむろおか20周年のつどい

11月2日、地域の皆様、利用者様ご家族様と共に歩んできた20年間を振り返り、「ワークセンターむろおか20周年のつどい」を開催しました。長いようであつという間な道のりを、保護者会役員の皆様、利用者様ご家族様、職員、理事長と常務理事をお迎えした中で、じんわりするようなBGMをバックにスライドショーで懐かしみました。言わずもがな、みんな若かった!(当たり前ですが)。そして、活動も積極的で一泊旅行や日帰り旅行、美術館鑑賞、遠方へ美味しいものを食べに行ったりと、様々な場所で思い出を作っていました。コロナ禍で活動がかなり制限されてからは、感染予防を第一に行事の計画を立てざるを得ませんでした。少しずつ写真のような活動ができるようになればいいな、21年目以降も利用者様の笑顔が絶えないワークセンターむろおかが在り続けていきたいですね。引き続き皆様と共に歩んで参りたいと思いますので、温かく見守っていただければ幸いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

◆ ◆ 年度ごとの写真がたくさん!
笑顔がまぶしいね!



法人の理念「輝く命」を
全員で唱和

真剣に話を聞いています



ワークといたら...?
「ヤングマン」「USA」だよ!

懐かしいような、しみじみとする挨拶でした。

家族会様より

20年の節目として家族会から「テント」を寄贈いただきました。イベント出店やワーク内での行事など様々な場所で活躍するテントです。大事に使わせていただきます!

ありがとうございました!



阿部会長より

「利用者がいきいきと活動できる場を提供できる一助となれば大変嬉しいです。」
と、お言葉をいただきました。



イントロクイズや
この人だ〜れ?クイズを
楽しみました!
みんなよく知っていますね!

障害者支援施設 新生園

「備えあれば」の防災訓練

毎年度計画を立て、実施している災害時対応の訓練。今年度は例年と比較し想定内容を増やして実施しました。

「福祉避難所開設訓練」

当園は矢巾町と福祉避難所の協定を結んでいます。町からの要請を受け避難所を開設するという想定で、二世帯分の避難場所を確保すべく、会議室内を仕切り、段ボールベッドを組立て、要支援者の受入れ準備をいたしました。

矢巾町福祉課、防災安全室の担当者にも参加いただき、緊張しながらも職員同士声を掛け合い取り組むことができました。

「非常食提供訓練」

大きな地震で厨房からの食事提供ができなくなったという想定で、備蓄していた非常食を調理・提供しました。当日は利用者様にも協力をいただき、昼食時に実施、利用者様からは「寒い時期に温かいものが食べられるのは嬉しいね」の声もありました。

二つの訓練は初めてで、計画通り実施できましたが、課題も挙げられました。今回の反省を今後に関し、継続して取り組んでいきたいと思います。



障害者支援施設 第二新生園

クリスマス会 忘年会

2024年最後のイベントとして入所・通所それぞれでクリスマス会や忘年会を開催しました。コロナウイルス感染等、大変な事もあった1年でしたが、美味しいおやつを食べ、ジュースで乾杯しながら、今年一年を振り返り、大いに盛り上がりました。2025年も利用者の皆さんの笑顔で溢れる1年にして参ります。よろしくお願ひ致します。



新生ホーム クリスマス会

●室岡ホーム
●中島ホーム

●見前ホーム
●第二中島ホーム

共同生活援助事業所
新生ホーム

12月24日に新生ホーム恒例のクリスマス会が、それぞれのホームで行われました。皆さんが楽しみにしている遊生会行事の1つです。

「エコレストランあいのの」のピザとパスタ、そして、ジュースにケーキといつも以上に豪華な夕食がテーブルに並びました。

そして、今年は、施設長サンタが、4か所のグループホームをまわり、利用者様ひとりひとりにクリスマスプレゼントを渡しました。

ゲーム機、CD、DVD、洋服、ヘッドホン、プリキュア、お菓子の他、ホールケーキ丸ごとにビールやウイスキーといった大人のプレゼントも!

前もって職員にお願いしていた念願のプレゼントが届き大喜び!大興奮!満面の笑顔!

新生ホームのクリスマス会は、普段買えないようなものをプレゼントとしてもらえる年に一度の特別な日です。

皆さん仕事、作業、活動と1年間頑張りました。これからも健康で楽しく新生ホームでの生活を送ってください。また元気に会いましょう! (サンタより)



「あさあけの園」 クリスマス&忘年会



歌中にジャンケン声掛けがある曲では、皆さんが一斉に「ジャンケンポーン!」会場が一体になり盛り上がりました。(左上の写真)盛り上がるといえば、お楽しみ抽選会!皆さんに喜んで欲しいと考え抜いて選んだ景品の数々に、「あっちがいいかな〜?」「こっちがいいかな〜?」と、一番クジを引き最初に選んだ人〜最後になった人まで、楽しく景品選びを迷われていました。

12月14日「あさあけの園」年末恒例クリスマス忘年会を開催しました。会場は利用者様のリクエストにより、紫波グリーンホテル。

広い会場、ボリュームいっぱい食事、大画面、豊富な曲数と大音量でのカラオケは、皆さんをワクワクさせるようです。歌っている人は勿論、聴いている人もリズムに乗ったり口ずさんだり、中には自前のペンライトを振り続けてくれた利用者様もいました。

多機能型事業所
あさあけの園



☆「大成功〜!」+



医療型障害児入所施設
みちのく療育園メディカルセンター

みちのくショッピングモールで
Xmasパーティー2024!!

～誰が億万長者に!?!～



12月19日恒例のXmasパーティーを盛大に開催致しました。居室棟をショッピングモールに見立て、利用者さん、ご家族の皆さんと一緒にプレイルーム、東棟を散策しながらのショッピング。ピアノの生演奏を聴きながら買ったジュース、おやつをご家族と一緒に食べたりと楽しい一日を過ごしました。

また、後半には利用者様、職員によるステージイベントや宝くじ抽選会などで大いに盛り上がりました!!



これから始まるよ～～

なに買おうか
迷っちゃうよ



早く!行こうよ!



障害者地域生活支援センター
しんせい

障がいがある方の避難訓練

当センターが事務局として関わっている紫波町障害者自立支援協議会で実施した、障がいがある方の避難行動についての取り組みを紹介いたします。

今回は、地域のグループホームで生活している医療的ケアが必要な方の災害時の避難について検討し、実際に避難訓練を行ってみるところまでがテーマでした。講師は、これまでも障がいがある方の災害時の対応などの研修会を行っていただいた岩手県立大学講師鈴木あゆみ氏にお願いしました。避難訓練に向けて2回ほど行ったワーキングチームによる検討会では、対象となる方のマイタイムライン(避難行動予定表)の内容検討を、当事者のご家族、事業所、行政等関係機関により繰り返し行いました。

そして、12月12日の避難訓練では、実際に避難をしている様子をオンライン中継し、できるだけ多くの方々に避難の様子を見ていただきました。

訓練後には客観的な視点で良かった点、反省点など多くのご意見をいただきました。

今回の取組は、障がいがある方、特に災害時に生命に直結する可能性が高い医療的ケアが必要な方への支援の第一歩であったと思います。これからも地域全体で支援体制がつけられるよう取組を継続していきたいと思います。このことは、他の障がいがある方々、また高齢の方々への支援にもつながっていくものになると思います。



地域貢献活動部会

第2回目の活動は太田地区子ども会との協同で、冬休み行事を開催しました。

やはぱーくのキッチンスペースと大研修室をお借りし、調理活動とかるた大会を行いました。参加者はインフルエンザの流行により予定より少なく、児童、保護者、職員合わせて11名での活動になりました。

午前中はかるた大会の準備としてオリジナル絵札を作りました。楽しいかるた大会になるようにと真剣に言葉を考えたり、のびのびと絵を描いたり、笑いの絶えない時間を過ごしました。

調理活動では岩手の郷土料理「ひつつみ汁」のひつつみを作ってもらいました。きれいな形に伸ばすのが難しい様子でしたが、上級生にコツを教わったり、思い切り大きなひつつみを作ったりと、個性的なひつつみ汁になりました。「エコレストランあいのの」のお弁当も提供し、デザートには職員が焼いたカップケーキにデコレーションをしてもらい、楽しくおいしい昼食になりました。

お腹いっぱい食べた後は、かるた大会や、施設の余暇活動で行っているゲームで遊びました。「せいちゃん」の登場もあり大盛りあがりの1日になりました。

来年度も地域の皆さまとの交流の機会を作っていきたいと思います。太田地区子ども会の皆さま、ありがとうございました！



写真については、保護者の許可を得て掲載しています。

役職員交流会

11月9日、盛岡市内のホテルを会場に「永年勤続表彰式並びに役職員交流会」を開催しました。この交流会は、普段なかなか顔を合わせる機会がない役員・職員が一堂に会し懇親を図る場として、毎年行ってきたものです。

コロナ禍のため5年ぶりの開催となった今回、無事にこの日を迎えられたことをお互いにねぎらい合うひと時を過ごすことができました。

和やかな時間はあっという間に過ぎ、改めて役職員の一体感を感じることができました。



令和6年度 永年勤続表彰

今年度は5名の職員が勤続20年の表彰を受けました。これからも新生会の理念の実践、後輩職員の育成に力を発揮していただきたいと思います。



- みちのく療育園メディカルセンター
伊藤なぎさ 支援二課長
- 新生園
川村真知子 主任生活支援員
- みちのく療育園メディカルセンター
稲垣 美華 主任保育士兼生活支援員
- みちのく療育園メディカルセンター
千田 裕美 生活支援員
- みちのく療育園メディカルセンター
高橋 千幸 生活支援員

岩手県社会福祉大会長 表彰受賞

岩手県社会福祉協議会福祉大会において、第二新生園 斉藤幸生主任生活支援員が勤続25年の岩手県社会福祉大会長を受賞されました。おめでとうございます!!



講演会

理解促進研修・
啓発事業

日時 3月2日(日)午後1時半から

場所 紫波町オガール2階大スタジオ

講師 美術家 まつみね たかゆき 松嶺 貴幸氏

高校時代フリースタイルスキーの練習中に事故で頸椎を損傷し不自由になりながら、23歳でアメリカに留学、そこで現代アートにふれ希望を取り戻し、現在は最先端のテクノロジーを活用し美術家として活躍している方です。

共催 紫波町、しんせい

Information インフォメーション

caféあさあけ

カフェあさあけ・総菜パン

価格 1個 **200円～250円**(税込)

ベーコンエッグバーガー、焼きそば&たまごコッペ、野菜入りトマトフォカッチャ、チーズフォカッチャ、照り焼きフォカッチャと種類は色々。期間限定販売中の、すき焼きフォカッチャも人気急上昇!! 皆様のご来店、お待ちしております。 TEL.019-697-6537



エコレストランあいのの

お弁当

ご予算に応じて、彩が鮮やかなお弁当の注文を承ります。 TEL.019-681-0304



【表紙写真】

<雪とたわむれる せいちゃん：矢巾町室岡新生園玄関前>

今号は、新生会公式キャラクター「せいちゃん」をモデルに、令和7年2月積雪の朝、カメラを構えてみました。

まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では立春が過ぎました。せいちゃんとともに春の足音を感じながら、元気に乗り越えましょう。

撮影：法人本部事務局

編集後記

新年を迎え、最初の広報誌「HIKARE」をお届けしました。今年も引き続き、皆様にご愛読いただけるよう、紙面・内容を工夫していきたいと思っております。

さて、今回は、「ワークセンターむろおか20周年のつどい」を紹介させていただきました。これからも、法人の理念「輝く命」のもと、ご利用者、ご家族様、地域の皆様とともに歩んでまいりたいと思っております。